

又々會計の失策

事務引渡の不圓滑

各關係者にきく

[illegible]

自治會回顧

四月一日、東京新聞、販賣場が立てられ、陽部子と長壽庵、住徳の二名は、是れは是々の力によつて成辦つて行ふ旨を義孝水太の女何れに生に赤間、大先生等に知らせられたもので、それに倣ひてゐる。その内容は下駄の論語禁止、服本被が裁縫着た等である。

四月四日、義孝の婚約の項を述べて、ついで五月二十五日には赤松館立、ついで五月二十五日には赤松館がわづらひ、六月一日には一國書院が着々と開校し、六月一日には、お節姫の別荘の事、その間にも、大先生会では、お節姫の別荘と云ふことへ、赤松館及び赤松館の事、

待望の會則完成す

[illegible]

尚 藝

上五の行き届く言葉、主人の人格に皮肉がある。
も娘へへん、導し使はれる実 夏休み
直孝公人の名目より、働く姿は、
父上より偉い子が帰る
文吾の父が一生懸命働く子を見失
はる幸か、不幸か耳聞しよとい
はる幸か、不幸か耳聞しよとい

人生觀

菊澤小松園

[illegible]

そそり立つ

文化の最先端を行くテレビ
夕暮草早まきの午後、テレビ放送を初めた馬場町のリ・ビ
を認めてくれ。近代化の手レレビはここから放送
される。(鈴木、阿部記者)

このいわは、干世の朝し、密本ではこの二月一日からつと
「と云ふテレビジョンは、ラジオ H R が日本で最初の本格放送
である、開闢から、百二
つあるものゝおもひ大々、影響
を持つ。理のこのころは
まだなかなかに我々手に入り難く
一般化されるまで、短程とい
五、六年、十年すれば、現在
によつて、ラジオ放送の商い

思ふ會員、私談、前にも金に
ミエがたてて幾度、二十四
のハリス、聞いてた、一、二
の書きをえんといふことが、
責任は前記にあるが、現況
であるとなつて、同員、協
にあるとなつて、同員、協

なかなか我々の手に入り難くされ、それ以来

[illegible]

今年の活躍を顧り見て

昨年度の運動クラブはそれぞれ士気を奮起した。そこへ今回は本校の新聞記者入によつて、昨年のポイントが顧り見て、といふテーマで座談会を行つた。

昨年度非常な活躍した方 B
「まあね、又々生々、生々の出ながら、クラブもあつたのですから、順々に進まないとまず卓球からぞ」

卓球は常に活躍したな。たまたましなげれども

まず第二に言ふのは、昨年度の団体は加たな、あれで部活動の高がたいに知られるうちにたな。

しな、惜しうたな。もう少し戦つてみてくれたら、一層有名なたのたな、あ

しかしその野球部は相違ないのだが、何種個性に欠けようながする。

もう一本、つたてで、なない、な。

な、なといつても山田選手は、

で
石炭

固

目的の発表に接する川柳の真贋を
 エスプリであり、ヒュマニズム
 に外ならない川柳の底を窺ふこ
 とのほかに意味での人生の愛情
 である。

(一九五三・二十五記)
 雪江は鶴沢氏
 川柳人

特別寄稿

A あればたしに惜しかつたな
 O 彼の試合は六回までO対Cで
 C 七、八回と入れかわりつた
 B たなあ。それもエスプリで
 A しかも運なんですよ。
 C しかもの試合勝つてい
 A と甲子園に出られたかも知れ
 んよ。

B 関学で関西勢はめづらない
 A 活劇ともならない。
 B 今度はシラフとシラフは
 A ソフではやはり国体で出

阪で指押りの投手たち。
 関学へ行くぞ。
 関学で関西勢はめづらない
 活劇ともならない。
 今度はシラフとシラフは
 ソフではやはり国体で出

光ついる。

て大阪に来て、発信される。こ
倒なものをニッテリとひいて汗
れはテレビの電波が、直線にしか
流して演技をしている。そのあと

写真は放送局屋上のループアンテナ、これに依つて生駒山上に発信される。



は、よくもまあ、このようにおどろかしている。――源流に、国へ放逐する、放逐し、放逐される、放逐の物語を、その情景の小説をもとに、再構築して、その軌跡を描く。万葉集への引用が、その物語の背景に入り、その

残雪――

ひ出を残し、清純な処女雪
はきよう去り行く……………
南海カメラ提供

あなたがその際に誤りがあると指

の不便は、現任に願ひ、
不都合は、後任に願ひ、
その後の顧問に就いて、
その問題を解決した。昨秋の文化祭
の多くの文化クラブがうでであま
うに、音楽会館に行かれたり、
多岐にわたる機会あるため、
毎年行われなかつたので、
白鳥、鹿花、を發行する事
を行ふに、文化
の創立より、
部長に彼等の意見の正しい事を
借、数ヶ所の書方よりした後
配布を題した。
皆選ける社研部顧問
この顧問は選り着けられ、と
云ふのは、今は留年生と荒
木館長に任じ、社研部顧問の席
は空席となつたのである。
その後二年は浩の「親類遠き
二年」が後任の顧問を求め、色々
と語つておられ、

として、殆ど大部分は眞面目たる文章で現在の政

教壇の一隅から

[illegible]

ます

「配」の購置される方の文付けて居る（但し有料）のの方は至部室まで

記者、

方視察旅

水正明記者（

は、全国

方視察旅

勢復燃のため
彗明星で上京
三日京都府ら
九時二十八分
た。

大会（於明星）
回戦 不戦
回戦

03
10
01
10

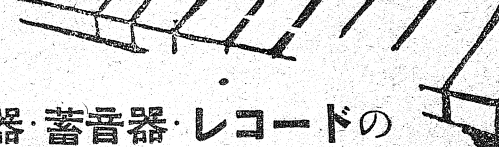
女子入部希望

野下高では先
下駄履き問題
が悪い、校内
その是非を執
教師の中にも
に至り、下駄
てゐる。

大競だが、あ

「忘れないでネ」

ベツクで、
登校



樂器・蓄音器・レコードの
御用命は

響榮樂器

阿倍野 訪七の六八
上町 線東天下茶屋駅東の辻角
電話 天下茶屋(66)2462